

1 審議会名	武石地域協議会
2 日 時	令和3年10月20日 午後7時00分から午後 時 分まで
3 会 場	武石地域総合センター3階 大会議室
4 出 席 者	池内俊郎会長、金子るり子副会長、岡村正徳委員、荻原輝夫委員、金井修一委員、金井律子委員、川合節子委員、小林明美委員、城下昌史委員、橋詰明德委員、宮下覚委員【欠席委員 9名】
5 市側出席者	下村地域自治センター長、滝沢地域振興課長、樋口教育事務所長、小山市民サービス課長、佐藤産業建設課長、宮下商工担当係長、杉浦丸子・武石上下水道課長、若木地域政策担当係長、鈴木地域担当職員、増田地域政策担当
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍 聴 者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和3年10月29日
協 議 事 項 等	

1 開 会 (金子副会長)	
2 あいさつ (池内会長)	
3 報告・協議事項	
(1) 武石診療所のあり方について (市民サービス課長説明)	
(会長)	前回上田市から武石診療所のあり方の質問を受けそれに対し協議会としての答申を返す。今回委員のみなさんからいただいた意見をもとに、答申書案をまとめた。
	委員からの意見、質問なし
(会長)	答申書案を承認ということによいか。
	～全員了承～
	(引き続き、その場で下村地域自治センター長に答申書を手渡す。)
(センター長)	ただいま会長より武石診療所のあり方について答申をいただいた。この答申に基づいて武石診療所については武石地域唯一の医療機関となくてはならない施設と考える。どうやったら守っていかれるかを含め今後も取り組んでいきたい。
(事務局)	今後の予定としては、答申書をもとに市としての方針案を作成していく。その後、住民の皆様への説明会を開き診療所のあり方を皆さんに知っていただき了解いただいく中で市の方針を3月までには作成したい。
(会長)	住民説明会はいつごろ開催予定か。
(事務局)	できれば1月を予定している。
(会長)	複数回か。
(事務局)	地域内で3か所を予定している。

(2) 上田市武石地区特定目的賃貸住宅条例の一部改正について（市民サービス課長説明）

【質疑等】

- (会長) 今回の改正は従来の 20 歳から 33 歳までという年齢制限の枠を外し、上限をなくしたということか。下は 18 歳以上ということか。
- (事務局) 成年であればよい。
- (会長) 18 歳以上の成人という文言を入れなくても良いか。
- (事務局) 問題ない。
- (会長) 単に年齢制限をなくしただけで問題ないか。グリーンハイツ片羽はそういう形で運営しているのか。
- (事務局) そのとおり。
- (会長) 改正はいつごろ上程するか。
- (事務局) 12 月議会で提出する。
- (会長) 実際の募集での適用は来年からか。
- (事務局) 議会の議決が終わってからとなる。

(3) 岳の湯温泉雲溪荘のあり方について（産業建設課長説明）

【質疑等】

- (会長) 上半期の状況は若干持ち直しており、経営努力も含め上げてきている。宿泊が難しいのはコロナの関係もあり、その分日帰り利用する方が増えたものとする。下半期は信州割（5,000 円割引、2,000 円のクーポン）プラス武石割（3,000 円割引、2,000 円のクーポン）という総額で 12,000 円の補助が出る割引プランの人気があり、売り切れ状態。武石割は予定枠いっぱい。今後武石割で申し込んでも使えない状態。信州割は若干残りがある。年内持たずにすべて売り切れてしまう。その後どうやってお客を呼び込むかがこれからの課題。政府の GOTO キャンペーンの見込みも見えない。来年以降の雲溪荘のプランニングを事業団としても決定しかねている状態。日帰りプランは 3,000、4,000、5,000 円のプランがあり継続して行っているのは是非使ってもらいたいという話があったが、もっと積極的にプッシュしたらどうかという提案。地域協議会として、昨年 12 月と 3 月に「使って残そう雲溪荘」の掛け声のもと各戸に利用促進のチラシを配布した。できれば年末を迎える前に準備をし、各戸に年末年始を含め雲溪荘の利用促進をしていきたい。詳細は産業建設課、事業団、雲溪荘と相談し決めたところで協議会に提案していく。
- アンケートの結果の集約はできているか。
- (事務局) 集計中である。次回の地域協議会でアンケート結果を提示し、12 月の地域協議会で意見をいただきたい。
- (会長) 上田市から雲溪荘に対して裏付けされている予算は来年度の 3 月までか。
- (事務局) 議会では令和 4 年度までの支出負担行為は認められている。
- (会長) 3 年間延長されたさらにその先どうするのか決めていくには地域の皆さんの声を把握するということになるので 11 月の結果を待つこととする。
- (事務局) 信州割と武石割の件でクーポン効果で 11 月までは満室の状況。また、雲溪荘のスタッフについては現在人手不足の状態であり、11 月にお客様が多く来る中で適切なサービス

を提供において低下してしまう状況。3月までに退職等で3人減となる。上田市地域振興事業団では職員を募集しているがなかなか応募がない。皆さんの周りにも声掛けをお願いしたい。

(会長) 9月までは予約を取った場合コロナの関係で定員数いっぱいには入れられなかった(1部屋2人まで)が10月8日から定員まで入れられるようになった。同じ満室でも人数が違い、3名減の状態では現場は天手古舞。このままではお客様へのサービスが低下してしまい評価の問題にも関わっていくため早急に人が欲しいというのが現場の声として上がっている。

#### (4) 武石公民館図書室及び学習室の運用について(地域教育事務所長説明)

##### 【質疑等】

(会長) 10月から今までの開館時間の拡張を行っている。学習室も図書室も丸子に比べ規模が大きくないがそれに対し利用者が増えていけばよいと考える。市からの回答内容に対し質問を投げかけている。9月にアンケートを実施し図書室の今後あり方について地域住民から意見を集り、現在3~4割の回収率と聞いているがいつごろまでに回収を終わらせるか。

(事務局) 10月いっぱいを予定している。

(会長) 11月以降アンケート結果を提示願う。

今回隔週土日半日という変則的な拡大枠だった。この間公民館の職員が対応したがこの体制を続けていくことは無理。図書室をしっかりと開いてほしいとお願いしているのは公民館の職員の負荷を上げるためではなく上田市としてきちんとした図書室の運営体制を取っていただくことを目的としている。最終的にどうするかという一つとして丸子図書館の分室的扱いということを提案している。図書館の行政対策の中に組み込んでいったらどうかという提案をしている。これについて市からは「課題が多い、関係部署と協議していく」と回答をもらっているが、課題とは、具体的にどういう課題があって、関係部署とはどこの部署を指し、どういう具体的な協議をしていつまでにどのような形で集約していくのか工程表の提出を依頼したがその後進捗はあるか。

(事務局) 協議体制だが教育事務所の中で、教育総務課、上田図書館の館長含め話している。その先は進めていないが再度上田図書館の館長と話を詰めた。

(会長) 現次点はまだ具体的な期日とかは決まってなく、話が始まったところということか。

(事務局) そのとおり。

(会長) 図書室のあり方を決定していく基本的なプロセスをオープンにして問題点が何かを明確にすることが必要。地域協議会としても地域として協力できることがあればはやっていくことも今後必要。図書館分室を含め市は継続的に協議してもらいたい。

(事務局) 昨日、武石小学校で学校運営委員会があり、その中で全国平均を見ると「読む力」が平均よりも低下しているという報告があり、図書館を利用して本を読むということが大事なのではと感じた。最近の子どもは読み書きが苦手であり、さらに児童一人ひとりにパソコンが配られての授業も始まり、なおさら読み書きする機会が少なくなっている。放課後ボランティアの先生が宿題を見ているが、ボランティアの先生たちが集中的に見ているという報告がありました。

(5) 上田地域における地域協議会の設置単位の見直しについて（報告）（地域振興課説明）

**【質疑等】**

（会長） 次年度から適用になるのか。

（事務局） 第9期から、来年4月からの適用となる。

(6) その他

第8回地域協議会の日程について

日時：令和3年11月17日（水）午後7時から

場所：武石地域総合センター 大会議室

4 閉 会（金子副会長）